

8 敷地内の通路

(1) 敷地内の通路

	整 備 基 準	図面及び各項目 の名称・番号等		判 定	留 意 事 項
				基 準	
敷地内の通路	平たんな仕上げ				
	粗面又は滑りにくい床仕上材		(床仕上材)		
	排水溝に適切な溝蓋を設置		(排水溝の有無) ・有 ・無 (溝蓋の構造)		
	段の有無 (段がある場合には、(2)の表の敷地内の通路に設ける段の欄で確認してください。)		(段の有無) ・有 ・無		
建築物の各出入口から道等又は車椅子使用者用駐車施設までの敷地内の通路	平たんな仕上げ				「出入口」の基準を満たすものからの経路について1経路以上を適合させてください。
	粗面又は滑りにくい床仕上材		(床仕上材)		
	段の有無 (段がある場合には、(2)の表の敷地内の通路に設ける段の欄で確認してください。)		(段の有無) ・有 ・無		
	幅員1.4m以上 (区間50m以内ごとに車椅子が転回できる部分(概ね150cm角以上)を設ける場合は、1.2m以上)		(最小幅員) m (転回スペースの内のり寸法) m (通路の最大延長) m (転回場所) 箇所		
	高低差がある場合には、傾斜路又は段差解消機を設置 (傾斜路がある場合には、(2)の表の敷地内の通路に設ける傾斜路の欄で確認してください。)		(設置する設備の名称) ・傾斜路 ・段差解消機		
建築物の出入口から道等までの敷地内の通路	線状ブロック及び点状ブロックの敷設又は音声による視覚障害者誘導装置等の設置		・線状ブロック及び点状ブロック ・音声誘導装置		「出入口」の基準を満たすものからの経路について1経路以上を適合させてください。 自動車車庫には、適用されません。
	点状ブロックの敷設		・車路に接する部分 ・車路を横断する部分 ・傾斜路並びに段の上下端及び踊場 ・道等に接する部分		

(注意) 1 用語の説明

- (1) 「段差解消機」、「線状ブロック」及び「点状ブロック」については、注意事項(共通)を参照してください。
- (2) 「道等」とは、公益的施設の敷地に接する道路(建築基準法第四十三条第一項に規定する道路をいい、同条第二項第二号の規定による許可を受けた建築物にあっては、建築基準法施行規則第十条の三第四項第一号の広い空地、同項第二号の農道若しくは道又は同項第三号の通路を含みます。